

令和8年2月9日

足立区立千寿桜堤中学校
学校長 齋藤 由美子 様

足立区立千寿桜堤中学校
開かれた学校づくり協議会

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

(1) 年度当初の目標設定と実行結果に対する自己評価がわかり易くまとめられており、自己評価は適切である。

(2) 区調査については、どの学年においてもすべての教科において正答率・通過率が区平均を上回っており、本校の学習定着に向けた取り組みの成果が表れている。また、学習意識についても概ね区平均を上回っており、一定の成果が見られる。特に「学校での授業が分かる」は、昨年度と比べて+6.9ポイントと大きく向上している。

2 学校に提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

(1) 「課題」

① 区調査アンケートで学習意識において、「勉強が好きだ」は昨年度と比べて-1.9ポイント下がっている。そのため、学校全体で生徒の目標達成キャンペーンや教員相互の授業参観による授業力向上を通じて、生徒が「勉強が好きだ」と感じることができるような取組を推進することを望む。

② 各アンケートでは、図書室の活用、道徳の授業に課題があった。学校で行われていることを地域や保護者に対して「見える化」し、わかりやすく地域や保護者に伝えていくことを望む。

③ 開かれた学校づくり協議会の授業診断評価では、OJTによる授業力向上がみられる一方、生徒の表現力に課題が見られた。授業の中で生徒が表現をする場面をさらに増やしていくことを望む。

(2) 「保護者・地域への期待」

① 防災教育プロジェクトを実施し、学校と地域との連携強化を進めることができた。避難所運営訓練も夏休み中に実施し、防災への意識を高めたところであるが、今後も学校と地域と連携しながら防災教育を重点的に進めていくことを切に望む。

3 その他

(1) 地域や近隣学校と連携した「防災教育プロジェクト」や、千住宿開宿400周年を記念したクリアファイルの作成や記念給食、また文化祭や生徒交流会でのスライドを用いた千住宿開宿400周年の発表などは、地域の活性化につながる活動として評価する。

(2) 小学生の体験型の学校見学会、大学院教育実習生の受け入れ、北米に留学した高校生との次世代リーダーオンライン会議、2年生から1年生へ学習アドバイス、JICA経験者による講演会等、様々な取組を積極的に推進していることが確認できた。